

なかのカヤック 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

2020.6/22 版

【一般的な感染予防】

- ・日常生活において、3密と呼ばれる高リスクな環境を極力避ける。
- ・業務中において、常に3密を避け、相手との適正な距離を保つもしくはマスクを着用する。
- ・行政や研究機関から発信される最新の情報などを定期的に確認し、予防対策を柔軟に改変していく。

【健康管理の目安】

□ガイドの健康管理

- ・日々健康管理に注意し、始業前に検温する。37.5℃以上の発熱を目安に、発熱時は休業とする。
- ・発熱・せき・頭痛・倦怠感（体のだるさ）、嗅覚や味覚異常などの症状がある場合、営業を自粛する。
- ・ツアー後、発熱や呼吸器症状などの新型コロナウイルス感染の疑いが出た場合、営業を自粛し、自宅待機および保健所への相談をおこなう。同時に参加者へ連絡する。
- ・業務前後や日常では、石鹸などを使って丁寧な手洗いをおこなう。

□参加者の健康管理

- ・ツアー当日の検温で、37.5℃以上の発熱がある場合は、受け入れ中止（平熱を考慮）する。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染治癒後 15 日未満または過去 15 日以内に感染症感染者と濃厚接触している場合、ツアーの参加は受け入れない。
- ・受付前の手洗いまたは手指等の消毒を実施し、パドリングしていない時はマスク着用のお願いする（マスクや消毒液などを持参してもらう）。
- ・ツアー参加後、15 日以内に発熱・せき・頭痛・倦怠感（体のだるさ）、嗅覚や味覚異常などの症状が出た場合、連絡をしてもらう。

【器材類の消毒】

- ・ ツアー後は、カヤック器材の洗浄と消毒をおこなう。
 - 1) ウイルス不活性化効果のある処置：接触時間1分を目安に、かんたんマイペット・トイレマジックリンなどで拭き取り洗浄。
 - 2) アルコール消毒：アルコール濃度70%以上の消毒液で清拭
 - 3) 次亜塩素酸ナトリウム液消毒：濃度0.05%の次亜塩素酸ナトリウム液（水1ℓに対してハイター25ml）での清拭
- ・ レンタル器材やウェアに関して、特に人の手が触れる部分や口からの飛沫がかかる部分は使用後の洗浄および消毒を入念におこなう。
 - パドル・カヤックデッキ（特にバウ側）/コーミング/ハッチ/トグルなど
- ・ レンタルウェアは、使用の度に専用洗剤による洗濯または殺菌をおこなう。
 - ライフジャケット・ウェットスーツ・ブーツ・スプレースカートなど

- ・ 新型コロナウイルスの残存期間を考慮する。（2020年5月1日改訂版「[新型コロナウイルス感染症に対する感染管理](#)」国立感染症研究所）
 - 1) プラスティックやステンレスでの表面：72時間
 - 2) ダンボールの表面：24時間
 - 3) 銅の表面：4時間
 - 4) 空気中（エアロゾル）：3時間

【利用フィールド】

- ・ 都道府県発表の休業要請など、法に基づく要請を遵守する。
- ・ フィールド関係者の理解を得た上でツアーを実施する。
- ・ 状況に応じて、ツアー前後の立ち寄りを必要最小限に抑えてもらう。
- ・ 医療崩壊予防のため、これまで以上に、一層事故防止策を徹底する。

【ツアー】

- ・ 受付時はマスクを着用、陸上レッスンや休憩時などは適切な距離を保つもしくは対面での会話を避ける（風向きなども考慮する）。
- ・ 共有物を減らす。
- ・ 海の上でくしゃみや咳をする際は、口と鼻をタオルや手ぬぐい、肘などで覆い、飛沫が拡散しないようにする。

参加者数

- ・1日1組 1～5名限定で開催する。
- ・参加者同士の感染は、こちらでは責任を負わない。

参加費

- ・事前入金もしくは現金支払いで徴収する。現金支払いの場合、トレイでの受け渡しをおこない、対面および手渡しでのやり取りを避ける。
- ・トレイは使用前後で清拭消毒し、会計の都度、手指の洗浄もしくは消毒をおこなう。

申込書

- ・通常の参加申込書/健康チェックシートに加え、新型コロナウイルス感染症予防対策シートへの記入をお願いする。
- ・環境が整っている場合、メールなどで事前に送付し、当日持参してもらう。
- ・筆記用具を持参してもらうか、使用の都度、清拭消毒をおこなう。



ランチ

- ・集団での食事は感染リスクがあることを認識し、対面での飲食は避ける。
- ・調理時は、使い捨てのビニール手袋を着用する

キャンセル料

- ・体調不良による場合、当日であってもキャンセル料はかからない。

【参考資料】

- ・日本セーフティカヌーイング協会
コロナウィルス感染症拡大防止に関するガイドライン
- ・北里大学大村智記念研究所 ウイルス感染制御学研究室
医薬部外品および雑貨の新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）不活化効果について  [2020.4/17 プレスリリース](#)
- ・東北医科薬科大学病院
新型コロナウイルス感染症 ～市民向け感染予防ハンドブック第2.2版
 [2020.4/24 発刊](#)

※ 本ガイドラインは、新型コロナウイルスがインフルエンザなど、他の感染症と同じ扱いになるまで適用する。